



旭岡中学校区 小中一貫教育グランドデザイン



取組の3つの柱

校種の
つながり

学びの
つながり

地域との
つながり

旭岡中学校区が目指す児童・生徒の姿

ふるさとを愛し、自ら学び 心豊かに 共に未来を生きる子供

旭岡中学校区 小中一貫教育 目的

旭岡地域の小学校・中学校間の連携や交流を図るとともに、児童生徒に義務教育9年間を見通した適切な支援・指導に努める。

函館の教育が
目指す人間像

自立

共生

創造

旭岡小学校

【学校教育目標】

明日を拓く旭岡の子

- 明るく元気な子
- すすんで学ぶ子
- 思いやりのある子

【重点教育目標】

- すすんで 学び合い 「自信」を高める子

【目指す 学校像】

- 児童が「喜んで登校したい」学校
- 保護者が「安心して通わせたい」学校
- 教職員が「子供を変容させたいと強く願い、実践する」学校

【目指す 児童像】

- ◎ 明るく元気で、ねばり強く取り組む子
- ◎ すすんで学び、工夫し、表現する子
- ◎ やさしく思いやりがあり、仲間と協力できる子

旭岡中学校

【学校教育目標】

- 自ら考え学び 自己実現できる人 (自律)
- 自他を敬愛し ともに生きる人 (感謝)
- 心身を磨き 社会形成に参画する人 (貢献)

【重点教育目標】

- 自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成

【目指す 学校像】

- 挨拶がこだまし、生徒の笑顔が輝く学校
- 信頼・協力のもとに、教職員が意欲的に取り組む学校
- 保護者・地域の願いや期待に応える信頼される学校

【目指す 生徒像】

- | | |
|---|------------|
| あ | 明るく |
| さ | 爽やかに |
| ひ | 人に対して |
| お | 思いやりをもち |
| か | 考えて行動できる生徒 |

「地域とのつながり」を基盤とした小中一貫教育の取組

旭岡中学校区：小中連携推進委員会 等

◆ 一貫した指導方法・授業スタイルの創造

- 教育活動の相互参観
- 学力向上に資する取組交流
- 9年間を通した学習常規の作成・指導

◆ 生活リズム、家庭学習の習慣化に向けた取組

- 発達の段階に応じた「家庭学習のすすめ」
- 「携帯・スマホ・ゲーム機利用時間制限週間」の設定

◆ 「中1ギャップ」軽減に向けた取組

- 「校外生活員会」「相互授業交流」を通じた生徒指導・学習指導でのつながり
- 「小中養連携会議」「小中養連携全体研修会」を活用した特別支援教育でのつながり
- 「新中学1年生」の体験入学
- 中学生による小学校の学習発表会での合唱披露

◆ 家庭や地域との協働による取組

- 旭岡地区学校運営協議会 (CS) を通じた協働活動
- 小中合同日曜参観
- 旭岡地区安全マップの作成・改訂、地区クリーンデー (小中養) クリーンデー等

◆ 児童生徒の課題を踏まえた取組

- 「個別の教育支援計画」等を活用した児童生徒の実態の交流

9年間を見通した教育課程の連続性・系統性の確立 ~ 学びと指導の一貫性による小中接続の推進